

平成 31 年 4 月

川崎市中学校教育研究会理科部会

教育課程研究推進委員会 報告

教育課程研究推進委員長 滝口 康夫

1. 平成 30 年度研究推進委員会組織

研究推進委員長 滝口（南加瀬）

副委員長 澤田（玉川）

地区責任者 川崎地区：堤（富士見）、幸・中原地区：森山（宮内）

高津・宮前地区：三木（平）、多摩・麻生地区：清水（栞形）

2. 平成 30 年度研究推進

① 研究の内容

○新学習指導要領の研究

- ・前学習指導要領から変更したところの研究
- ・小中高のストーリーの研究
- ・タブレットの活用の研究
- ・次回、神中理 川崎大会へ向けて、研究内容、主題の検討
- ・30 年度 高津・宮前地区授業研究会とのタイアップ（平中）

4 月 18 日 教科総会 かわさき宙と緑の科学館

6 月 11 日 第 1 回市教育課程研究会

8 月 21 日 第 2 回市教育課程研究会

9 月 25 日 第 2 回研究推進委員会

1 月 18 日 高津・宮前地区授業研究会 平中 三木 教諭

兼 教育課程推進委員会

「金属と酸素が化合するときの金属と酸素の質量」

「タブレット PC を用いた話し合い活動の展開」

4. 30 年度のまとめ

- ・定期的に推進委員会を開くことができなかった。来年度は、各地区責任者と協力して、2、3回は研究授業を行っていき、新学習指導要領で求められている「さらなる資質能力を育むため」についての研究をしていきたい。
- ・今後は、「中学 3 年間の、どの単元、どの授業で、どのような資質能力を高めていけるか」について研究を重ね、年間の教育課程の一例を示していけるようにしていきたい。